

FUME COLLECTOR

TYPE: WF-300

取扱説明書

お客様へ 安全に関する注意事項

この度は集塵機をご採用下さいまして誠に有り難うございます。

この取り扱い説明書は最後まで読んで頂き、必ず実際に使用する方の手の届く場所に保管して下さい。

説明書の中にでてくる【▲警告】表示は、特に重大な事故が予測される場合、【◇注意】表示は、事故や故障を起こす恐れがある場合を表しています。

どちらも大変重要ですので、必ず良く読んで事故防止に努めて下さい。

警告・指示項目は必ず守って下さい



本機はヒューム用集塵機です。
注文品の型式、仕様を必ず確認して下さい。
付属品の内容を確認して下さい。

*この取り扱い説明書は各機種共通です。お客様の仕様により一部異なる箇所があります。
あらかじめご了承ください。

—目 次—

構成部品と組立	2
集塵・配管	3
電気工事	3
運転	3
集塵できるもの	4
据え付け場所	4
消火設備	4
試運転	5
通常運転	5
整理整頓	5
日常点検	6
定期点検と修理	7
ファン・電動機を注文する場合	8
ファン・電動機点検	8

WF-300専用

構成部品と組立

【▲警告】

- ・合体部は、シール及びボルトの締め付けをしっかりと行って下さい。
- ・フィルターが、しっかりとついているか確認して下さい。

1. クリーナー本体の構成は、図1の様になっています。
2. ダストトレイ内に堆積した粉塵の排出方法は、図2の要領にて捨てて下さい。
3. 全体の構成部品は、最終ページ図面（A013653）参照。

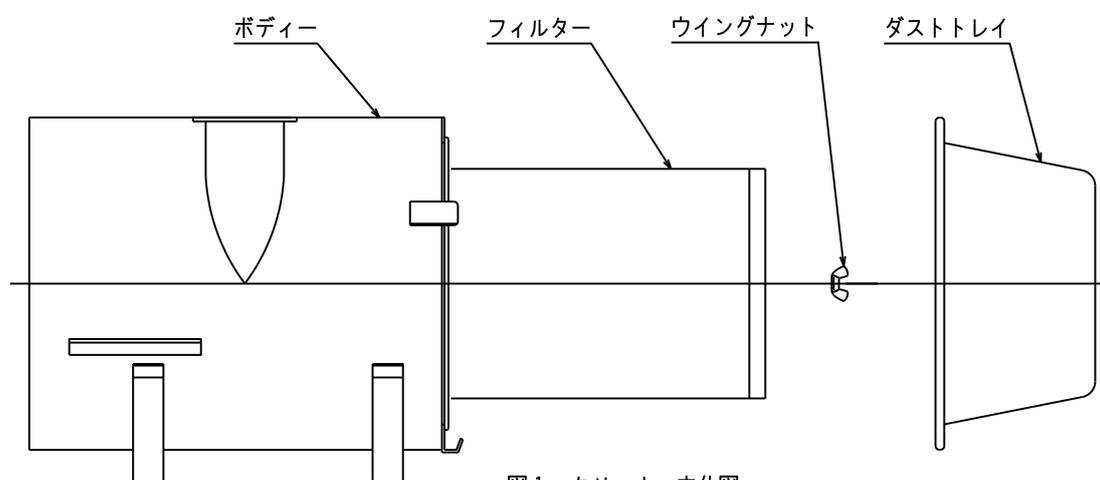
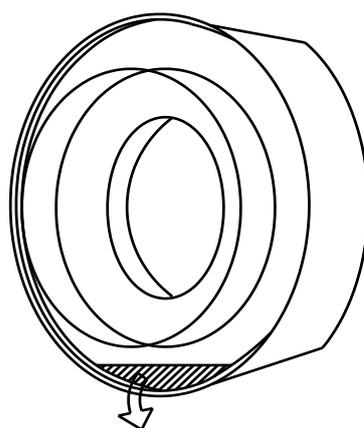


図1 クリーナー本体図



粉塵を捨てます。

図2 カップ図

集塵・配管

【▲警告】

- ・分岐は出来るだけ少なくし、配管内に粉塵が堆積する事の無いようにして下さい。

【◆注意】

- ・ダクトは出来るだけエルボを少なくして下さい。ダクトホースは出来るだけ短くし、極端な曲がりを少なくして下さい。曲がりが多いと、吸引力の妨げになります。(圧力損失が大きくなる)
- ・定期的に点検、清掃を行って下さい。

電気工事

【◆注意】

- ・電気配線（接地工事含む）は、必ず電気工事の有資格者が行って下さい。
- ・電源電圧は、銘板の表示と一致しているか必ず確認して下さい。
- ・運転中に規定電流以上の電流が流れる場合や、単相運転によって電動機が焼損する事があります。事故防止の為にモーターブレーカーをお付け下さい。(過負荷保護装置のないスイッチ)
- ・ブロワーは起動時に多量の電流が流れます。やむをえずヒューズを使う場合、定格の4～5倍をご使用下さい。
- ・モーターブレーカーを取り付けずに起きたトラブルは（保証期間中でも）保証は出来かねますのでご了承下さい。
- ・必ずアース及び漏電遮断機を取り付けて下さい。アースは水道管やガス管への接続はしないで下さい。

運転

【▲警告】

- ・濡れた手でスイッチを触らない事。
- ・本運転の前に回転方向を確認して下さい。
- ・火のついた煙草等は絶対に吸引させないで下さい。

集塵できるもの

【▲警告】

- ・マグネシウム、アルミニウム、チタン等の爆発性粉体、揮発性可燃物及び、ガスは、吸引させる事が出来ません。

【◇注意】

- ・粉塵や液体には使用しないで下さい。
- ・次のものは吸引しないで下さい。釘などの鉄屑、ひも、カンナ屑、粘性や固形化の性質があるものなど。
- ・腐食性粉塵や気体、液体、湿気、粘性、潮解性の強い粉塵にはご使用になれません。

注) 潮解：固体が大気中の湿気を吸収して溶解する事

据え付け場所

【▲警告】

- ・集塵機は爆発性雰囲気（揮発性可燃物、気体、爆発性粉塵の滞留、堆積）を避け、出来るだけ清潔で整頓された場所に設置して下さい。火災、故障の原因となり、万一火災や爆発が起きた時、二次爆発が起こり被害が拡大します。
- ・WF-300は、コンパクト性、簡便性を主眼に開発された商品です。発煙量の多い所での使用は、フィルターの寿命を著しく低下させます。
- ・屋内で水、油のかからない場所で垂直に設置して下さい。

【◇注意】

- ・設置場所は40℃以下、相対湿度80%以下の雰囲気で使用して下さい。
- ・腐食性の強い雰囲気では使用出来ません。
- ・据え付け後、メンテナンスがしやすいよう、四方1m以上の空間を開けて下さい。
- ・集塵機の周囲は可燃性の物は置かないで下さい。
- ・堅固で水平垂直を保てる安定した場所を選んで下さい。アンカーで固定する機種は、設計基準に乗った基礎をお願いします。

消火設備

- ・取り扱う粉体の消火については、お近くの消防署に相談し、適切な消火器、消火設備を設置してお使い下さい。

試運転

試運転前のチェック

- ・ 据え付け状態が安定しているか。
- ・ 電源コード、アースの接続、絶縁、電圧のチェック。
- ・ ダクト内のボルトや工具類の忘れ物のチェック。

試運転

- ・ 電源を入れたらすぐにスイッチを切り、電動機の回転方向が正しいか、ファン又はモーターに貼ってあるシールでチェックして下さい。
- ・ 回転方向確認後、運転を始め、電流値、振動、音、電動機や装置の作動時の温度等を確認して下さい。

(プリコートのお薦め)

- ・ 未使用のフィルターに、いきなり粉塵を吸引すると、フィルターのろ過速度が早く、フィルターの目地の中まで粉塵が入り込み、目詰まりも早くなり、フィルターの寿命を短くしてしまいがちです。
- ・ プリコートとは未使用のフィルターの表面に不活性粉(炭酸カルシウム)等を一次粉塵層として付着させ、目的の粉塵からフィルターを守り、捕集効率を上げる働きをさせます。
- ・ 集塵機の吸引口をダンパー等で1/3程度まで絞り、風量を落とし、フィルターのろ過速度を落とします。プリコート粉を時間をかけて徐々に吸引させて下さい。フィルター全体に粉塵が付着している事を確認して終了します。ただし、高圧ブロワーは排気側で調整しなければならない事もありますので、必ずブロワーの取扱い説明書や、販売店で確認して下さい。

通常運転

【▲警告】

- ・ 運転前にダストトレイがしっかり止められているか確認して下さい。

整理整頓

【▲警告】

- ・ 集塵機の周りは常に清潔にし、物を散乱させる事無く、整理整頓をお願いします。二次災害を防ぐ為です。
- ・ 集塵機の周りには可燃物を置かないで下さい。

日常点検

【◆注意】

- ・集塵機の振動、音、電動機の発熱、吹き漏れ等を確認して下さい。
異常があった場合はすぐに運転を取りやめ、異常箇所を突き止め、原因の確認と修理、再発防止をしたうえで運転を再開して下さい。
- ・1日の作業の開始前又は、終了後にフィルターとダストトレイの清掃をして下さい。

①フィルターの清掃

フード部からの吸引が悪くなった時、フィルターを取り外し清掃又は、交換を行って下さい。(但し、毎日始業時又は、終了時の清掃によりフィルターの寿命を延ばす事が可能です。)

②フィルターの取り外し方法 (図1参照)

- a) ヒュームコレクター (WF-300) を吸気口が上になるように横に寝かせます。
- b) パッチン錠を緩めてダストトレイを取り外します。ダストトレイ内に堆積した粉塵を排出させて下さい。(図2参照)
- c) フィルターを固定している、ウイングナットを緩めてフィルターを取り外します。

③フィルターの清掃方法

- a) フィルターを回転させながら $7\text{ kg/cm}^2\text{G}$ 以下の圧縮空気をフィルターの内側からフィルターの山に沿って上下するよう吹き付けて下さい。
- b) ダストの含油率が多い場合、中性洗剤を溶解した水に約30分間浸した後、水にてよくすすぎ風通しの良い場所で十分に自然乾燥させて下さい。

④フィルターの取り付け方法

- a) ウイングナットにてフィルターを締め付け固定します。
- b) ダストトレイを取り付け、パッチン錠を閉めて下さい。
- c) ヒュームコレクター (WF-300) を垂直に立てて作業終了です。

⑤フィルター交換時期の目安

フィルターの清掃を繰り返しても吸引力が回復しなくなったら、新しいフィルターと交換して下さい。

⑥注意事項

- ・清掃する際にフィルターをたたいたり、打ち付けたり、落としたりしないで下さい。
- ・溶接ヒューム中の含水・含油率が高いとフィルターの寿命が著しく低下します。
- ・フィルターを清掃せず使用を続けた場合、ブロワーモーターの故障の原因となりますので必ず清掃を行って下さい。
- ・本品の改造は、故障の原因となりますので改造を行わないで下さい。

定期点検と修理

【▲警告】

- ・ 粉塵の性質を熟知した熟練者が行うようにして下さい。
- ・ 作業者は必ず手袋、マスク等の保護具を着用して下さい。(帯電性の無いもの)
- ・ 集塵装置の点検、修理を行う時は、必ず電源を切り、粉塵が落ちつくまで15分以上置いてからカバー等を開けて下さい。粉塵は危険な物として、とりかかる様にして下さい。
- ・ 照明等は防爆仕様の物を使い、粉塵を巻き上げる事の無い様注意して下さい。
- ・ 電動工具、溶接・溶断器材の使用、ハンマー等で叩く等の作業をする場合は、粉塵を完全に取り出し、周囲に可燃性の物が無いかを確認して下さい。

【◇注意】

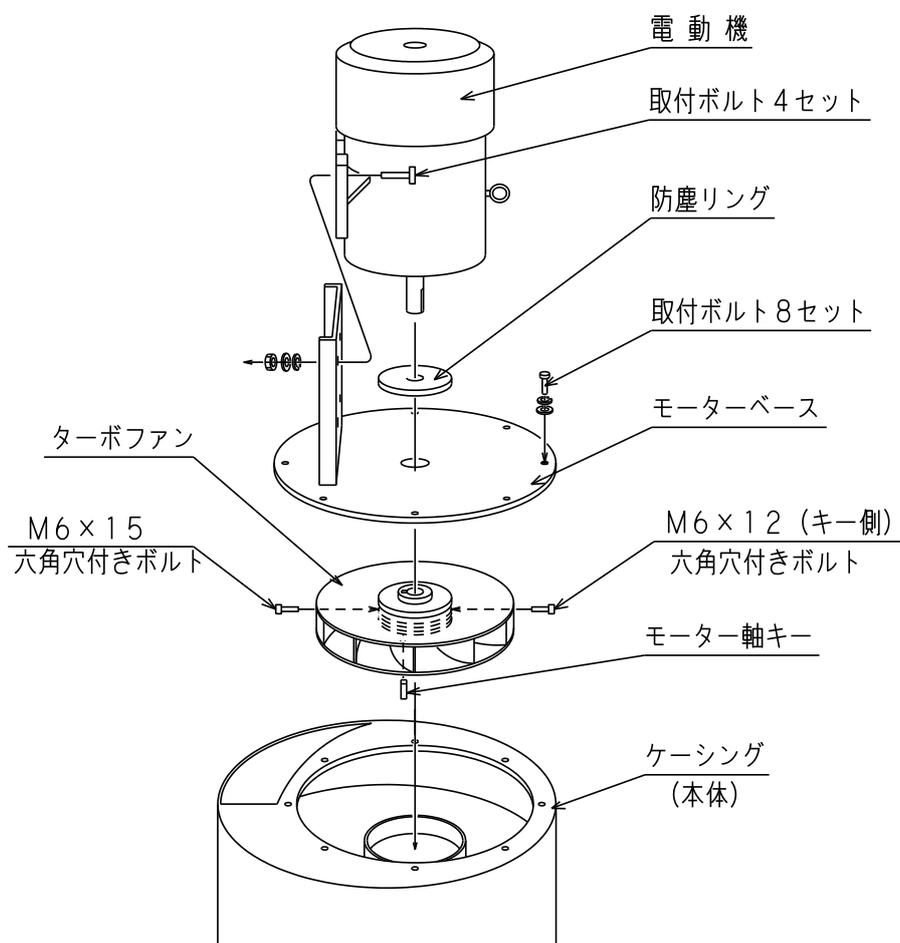
- ・ 配管内のダストの堆積、配管の破れ、継ぎ目の欠落等を確認して下さい。
- ・ 集塵装置の点検口のパッキンの破損や経年変化、合体フランジからの漏れ、ボルトの緩み、錆、塗装のはがれ、腐食、配線の絶縁、端子の緩み、粉塵の吹き漏れが無い事を確認して下さい。

ファン・電動機を注文する場合

【 ⚠ 注意 】

- ・ファンは、50Hz・60Hz 兼用です。
- ・モーターは市販品とは違う規格を採用しています。市販品では取り付けることができません。販売店を通して弊社に注文をお願い致します。

ファン・電動機点検

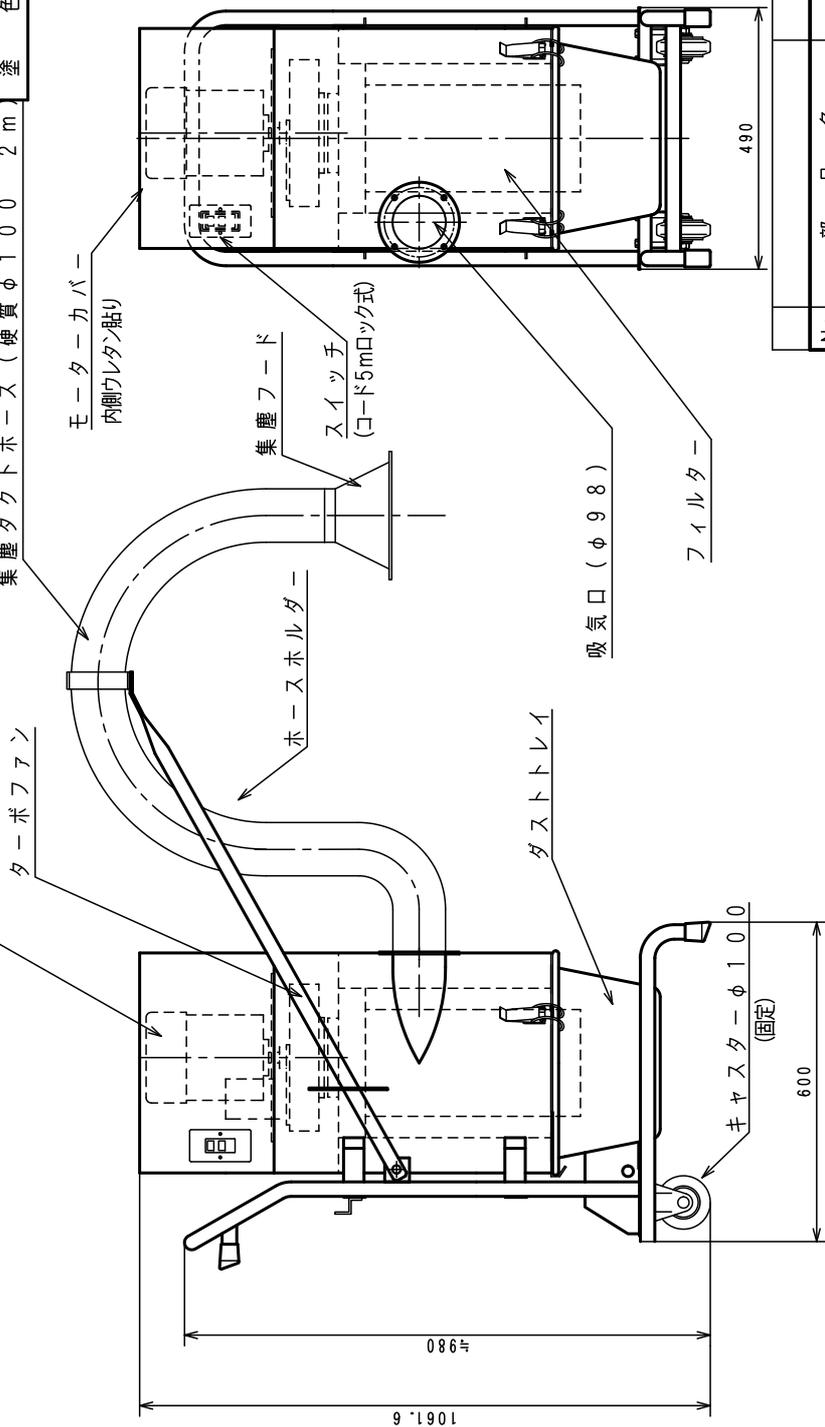


注) ファンはバランスをとってあるため、絶対にぶついたり、落としたりしないように丁寧に扱って下さい。

諸元	
風量	最大 8 m ³ /min
静圧	最大 2.1kPa / 220mmAq
騒音	75 Ph (A)
フィルター	φ200×400L×1本 5.0 m ²
ファン型式	MTB-1
電動機	0.75kW 2P 200V 1基
塗色	下記参照

電動機 (0.75kW 2P 3φ AC200V)

集塵ダクトホース (硬質 φ100 2m)



※塗色: 胴体、ホースホルダー...DIC12版548
 フード、ホースバンド...DIC12版548

モーターカバー、台車、ダストトレイ...DIC12版546

△5	..
△4	..
△3	..
△2	..
△1	14-11-05
符号	改訂記事 年月日

No.	部品名	形式	個数	材質	備考
名称	ヒュームコレクター				第三角法
付日			14.11.05		
形式	WF-300				
尺度			1/10		設計 製図 杉山
図番					A013653



〒432-8006 浜松市西区大久保町1509(浜松技術工業団地内)
TEL 053-485-5555 FAX 053-485-5505
E-mail eigyou@tokinarc.co.jp URL <http://www.tokinarc.co.jp>